

小樽商科大学ギャップイヤープログラムの概要

背景・目的

- 小樽商科大学では、グローバルな視点から地域経済の発展に貢献できる「グローバル人材」の育成を推進。
- 「グローバル人材」の育成を一層推進するため、入試合格者の入学を1年間猶予し、海外留学プログラムを受講する「ギャップイヤープログラム」を開始。

プログラムの概要

1. プログラムの流れ

- ①入試合格者の中から、対象者を選考(5名以内)。
- ②対象者は、本学の科目等履修生として、4～7月に事前の指導を受けた後、ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジ(KCC)で1 Semester(8～12月)、語学やマーケティング等の授業を選択履修。
- ③プログラム修了後、必要に応じ事後の振り返り学修等を行った後、小樽商科大学に入学(2021年4月)。

2. プログラム参加への支援・要件等

- ①2020年度実施プログラムでは、対象者の学費・生活費等の一部を補助予定。(派遣期間中の総費用見込160万円中、100万円を補助予定。)
- ②KCCでの履修科目の幅を広げるため、対象者に一定の語学力を有する学生を優先する(英検2級A、TOEIC650、TOEFL ITP500以上)。
- ③KCCで履修した科目を審査の上、本学の単位として認定することが可能。



期待される効果

- 海外での長期学外学修を通じ、国際感覚の涵養や自律的な学習習慣の確立が期待される。
- また、入学後の地域志向科目の履修や更なる留学等を経て、高い資質を持った「グローバル人材」となることが期待される。